

小野湖山 鑄之、善吉田藩儒、漢詩人。文化十一年一月十一日近江國生  
れ、明治四十二年二月二十八日歿（八四一五〇）。善姓横山、諱長慈、  
字鈴公一洞翁・懷之・上達、通稱仙助、横山卷、横山懷之、小野洞之  
助、小野慈、小野懷之、小林慈。別號洞庵、晏齋、湖山雙、湖山小隱、  
湖山居士、湖山惠、湖山醉人、湖山醉翁、湖山長惠、狂々生、狂々道  
人、玉池仙史、老慈、賜視樓等。梁川星巖公入門し、玉池吟社を繼承。  
國事の奔走して安政の大獄に連坐、幽閉處分を受く。文久三年藩黨時  
習館教授。維新後は詩文を以て自適、大沼枕山・鱸松塘と並心へ明治  
二詩人との一人。

編著書、藤森大雅著『春雨樓詩鈔』全三冊（横山卷名、評選、嘉永七  
年秋・穀塾藏板）、『鄧繪餘意』（小野長惠名、蒲生重章評點、明治  
二年十月游馬吟社藏版）、『蓮塘唱和集』（明治六年二月游馬吟社藏  
梓。小野湖山不忠池新居雜記下）一首唱和集）、『蓮塘唱和集續編』（小

野長惠名、明治八年十一月・無刊記）、繆良蓮山撰 森春濤參訂『文章游戲』全一  
冊（内題「文章游戲抄本」同、手抄、明治九年四月大橋棟吉 高橋源助發兌、  
別所平七

『湖山近稿』全一冊（同、明治十年五月二日出版、游馬吟社藏）、  
徐師曾纂『文章綱領』（同、鈔、大谷元知 鹿島知莊校、明治十年十一月游馬吟

社藏梓）、『唐宋八大家文讀本抄』（明治十一年四月横山源太郎出版、  
丸屋善七 弘令社賣別）、朱 飲山 著『詩法纂論』（一名千金譜錄要）（校、  
岸田吟香訓點

明治十四年六月二十日刻成、樂善堂書房藏梓）、『新選二體詩』全一  
冊（選、明治二十年四月游馬吟社藏梓）、『詩塘唱和』（明治二十四

年六月）（白京都、大竹萬吉編輯、小野湖山米壽記念詩集）等。